

令和3年度 大分県非鉄金属製造業 最低賃金専門部会

- 1 日時 令和3年10月12日（火）午前10時00分～
- 2 場所 大分第2ソフィアプラザビル 4階会議室
（大分市東春日町17番20号）
- 3 出席委員（敬称略）
公益代表：城戸 照子、清水 立茂、松隈 久昭
労働者代表：浅見 陽央、羽田 徹、姫野 琢哉
使用者代表：久甫 望、志水 文彦、中島 英司
大分労働局：中井 労働基準部長、幡手 賃金室長、柳井 賃金主任
- 4 議 題
（1）金額審議について
（2）その他
- 5 議事要旨
（1）金額審議について
ア 事務局より資料の説明を行ったのち、協議を開始した。
イ 協議方式について
公労使が別室に分かれ、労使が個別に公益と協議し、金額審議を進めていき、その後全委員が集まり意見集約する方法とした。
ウ 協議要旨
労側委員からは、銅価格が上昇しており利益率も高くなっていること、光ファイバー製品等で使用する通信系銅製品の業績が好調であること、公正競争・労働人口流出防止の観点から若年層の時間額を上げる必要があることなどの説明を踏まえた上で金額提示があった。
使側委員からは、鉱山の銅価格は高騰しているが県内の製造企業では大幅な利益は出ていないこと、銅製品の需要はスマートフォンやパソコン業界では好調であるが自動車産業では厳しい状況が続いている

こと、非鉄金属製造業全体の中小零細企業の経営状況にも着目すべきであることなどの説明を踏まえた上で金額提示があった。

エ 協議結果

意見の隔たりが大きく結論をまとめるまでには至らなかった。

(2) その他

次回の専門部会は、10月25日(月)午前10時から開催することとなった。